

[ドラマ・ファクトリー]

第二部実践編「実践4」に対応する、
創作支援プログラム「ドラマ・ファクトリー」です。
もとより、すべての人間現象を、限られた項目の網で
カバーし尽くすことは不可能です。
あくまでブレイン・ストーミングを基礎とする
発想手段の一つとして、柔軟に活用してください。

題名：

作者：

年

月

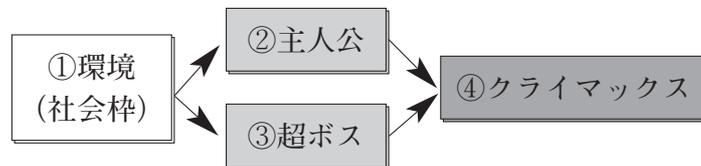
日

ドラマ・ファクトリーは、これから書くドラマ（シナリオ・戯曲・小説 etc.）のイメージと構成をより明確にし、ストーリー創作を支援するプログラムです。

このファクトリーには、準備→製作の2つの工房があります。
それぞれチェックリストを用い、次のような工程で作業を行います。

〈準備工房〉

まず、ドラマの行われる**世界**（環境・社会枠）を考え、**超ボス**と**主人公**を考えます。
続いて超ボスと主人公を激突させ、**クライマックス**を考えます。



〈製作工房〉

クライマックスから主人公の**超目標を逆算**し、**発端部**を考えます。
第一着手の行動から、**展開部Ⅰ**を考え、**展開部**を重ねます。
もう一度、**クライマックス**を詳しく考え、**エピローグ**でしめくります。



この作業の直接目的は、200字詰原稿用紙30枚までのプロットを作ることです

このプロットは、そのまま**企画書**のストーリーとして使うことができます。

また、**箱書き**として、打ち合わせなどにも大いに役に立つでしょう。

ここから、本格的な**シナリオ・戯曲・小説** etc. を書くことはただの一步です。

書くことによってイメージが発展します。読み返し、何度も書き直してください

チェックリストの各項目は、ブレン・ストーミングの刺激語と考えてください。

これをヒントにして、イメージをふくらませるのです。

字句の解釈も、あまり堅く考えず、自由に、流動的に、拡大して考えてください。

準備工房 第一工程 **環境(社会枠)**

どんなドラマにも、舞台があります。**環境、世界、社会枠**などと呼ばれます。
空間だけでなく、時間的にも、ある**時代**の範囲に限定されています。
自分の作ろうとするドラマは、どんな時空の中で行われるのか、チェックします。

①時代（中世、江戸時代、近未来など）	
②主要な舞台（国、町、会社、家庭など）	
③最大の活動範囲（市、国、宇宙など）	
④上位の人（支配者、ボス、親など）	
⑤下位の人（被支配層、低年齢層など）	
⑥主要な味方（家族、仲間、権力者など）	
⑦活動範囲に住む人間の数（百、万、億など）	
⑧言語・通貨単位（円、ドル、ギルなど）	
⑨政治体制（専制君主制、民主主義など）	
⑩経済体制（農本主義、資本主義など）	
⑪代表的な宗教・道徳（キリスト教、民俗宗教など）	
⑫代表的文化（絵画、演劇、建築など）	
⑬代表的武器と生産物（刀、銃、米など）	
⑭欠陥・不満（王の専制、悪代官など）	
⑮主な歴史	
地図：	社会階層表：

準備工房 第二工程 主人公

主人公は物語の要です。どんな複雑な出来事も、主人公の行動で統一されています。
 全編を貫く主人公の目的を**超目標**といい、その行動を**貫通行動**といいます。
 想像したすべてのデータを作品に出す必要はありませんが、具体性は大切です。

①名前・性別・年齢
②人種・種族
③国籍・住所
④容貌・容姿
⑤社会的地位・職業
⑥思想・信条・宗教
⑦性格・美点・弱点
⑧知性・愛情・健康
⑨特技・好物・癖
⑩履歴
⑪両親・兄弟姉妹・親戚
⑫配偶者・恋人・子供
⑬友人・仲間
⑭目上・上司・師
⑮敵対者 このドラマで彼に敵対し、彼を抑圧しているのはだれですか？
⑯味方 このドラマで、彼の味方となり、仲間となるのはだれですか？
⑰結末 彼は最後にどうなりますか？
⑱超目標 このドラマで、彼は結局何を実現したいと思っているのですか？

準備工房 第三工程 **超ボス**

超ボスは、主人公の**行動の原因**です。超ボスが主人公に何らかの損害を与え、抑圧するために、主人公はそれをはねのけようと行動を開始するのです。超ボスは、一人ではありません。多くは大勢の手下の組織を持っています。彼は結局、何を望んでいるのでしょうか？

①名前・性別・年齢
②人種・種族
③国籍・住所
④容貌・容姿
⑤社会的地位・職業
⑥思想・信条
⑦性格・弱点
⑧知性・健康
⑨特技・好物・癖
⑩履歴
⑪両親・兄弟姉妹・親戚
⑫配偶者・恋人・子供
⑬仲間・配下
⑭上位者
⑮悪の行為 彼は実際にどんな悪いことをしましたか？ 具体的に挙げてください。
⑯味方 このドラマで、彼の味方となる組織や部下はだれですか？
⑰結末 彼は最後にどうなりますか？
⑱超目標 このドラマで、彼は結局何を実現したいと思っているのですか？

準備工房 第四工程 **クライマックス**

クライマックスとは、主人公の超目標が達成されるかされないか、成否いずれにせよ、その**決着**がつくところです。ここで、主人公と超ボスの勢力は**総力を挙げて対決**します。主題、原因、経過など、クライマックスの中にはドラマのすべてが凝縮されています。

①主人公は、なぜこの超ボスと対決するのですか？

②主人公は、超ボスとどのようなやり方で闘いますか？

③超ボスは、主人公をどのような形で攻撃しますか？

④ここに至るまでに、主人公はどのような苦勞をしてきましたか？

⑤超ボスは、主人公をどのようにして、絶体絶命の窮地に追い込みますか？

⑥主人公は、どのようにして絶体絶命の窮地を逆転しますか？

⑦両者の対決の結果は、どうなりますか？

製作工房 **発端部**

いよいよ製作工房に入ります。発端部を考えるには定石があります。
主人公が貫通行動を開始する、**原因となる出来事を冒頭に据える**ことです。
主人公が超目標を決意するところ、それが発端部のクライマックスです。

①主人公が貫通行動を開始する動機になる、冒頭の出来事とは何ですか？

②その出来事は、主人公にどのような形で衝撃を与えますか？

③その結果、主人公はどんな決心をしますか？

④主人公はその決心を、どのような行動で表しますか？

⑤ファースト・シーンのイメージを考えてください。

⑥このシークエンスのクライマックスを考えてください。

⑦発端部のプロットを800字程度に書いてください。
実際に書くのは原稿用紙を使い、この欄はメモとします。

製作工房 展開部 I

展開部 I は、主人公が超目標に従って、いよいよ行動を開始するところです。これを**第一着手の行動**といいます。第一着手の行動は、結局うまくいきません。そこで主人公は、否応なく、次の行動を考えなければなりません。

①このシーケンスで、主人公は何をやるようとしていますか？

②主人公の行動に対し、どんな人物が、どのような反対行動をしますか？

③その反対に対し、主人公はどんな行動を返しますか？

④このシーケンスのファースト・シーンのイメージを考えて下さい。

⑤このシーケンスのクライマックスを考えて下さい。

⑥このシーケンスの終わりで、主人公はどのような決心をしますか？

⑦展開部 I のプロットを1400字程度に書いてください。
実際に書くのは原稿用紙を使い、この欄はメモとします。

製作工房 展開部Ⅱ

主人公はここでは、ほとんど途方に暮れています。
しかし、必ず環境の側から働きかけがあり、主人公はまた新しい行動を開始します。
いわば、**環境の側から船が来る**のです。

①このシークエンスの冒頭で、主人公はどんな状態ですか？

②その主人公に対し、どんな人物が、どのように働きかけますか？

③その働きかけに対し、主人公はどんな行動を返しますか？

④その行動に対し、どんな邪魔が現れますか？

⑤このシークエンスのクライマックスを考えてください。

⑥このシークエンスの終わりで、主人公はどんな状態ですか？

⑦展開部Ⅱのプロットを1200字程度に書いてください。
実際に書くのは原稿用紙を使い、この欄はメモとします。

製作工房 **展開部Ⅲ**

行動に失敗しても、主人公は超目標をあきらめません。
主人公は、次には、どんな行動を考え出すのでしょうか？
それはどのように妨害され、そして主人公はどうするのでしょうか？

①このシークエンスの冒頭で、主人公はどんな状態ですか？

②その主人公に対し、どんな人物が、どのように働きかけますか？

③その働きかけに対し、主人公はどんな行動を返しますか？

④その行動に対し、どんな邪魔が現れますか？

⑤このシークエンスのクライマックスを考えてください。

⑥このシークエンスの終わりで、主人公はどんな状態ですか？

⑦展開部Ⅲのプロットを1000字程度に書いてください。
実際に書くのは原稿用紙を使い、この欄はメモとします。

製作工房 **展開部Ⅳ**

超目標に従い、主人公はまた新しいトライをします。
環境からの反撃があり、主人公は途方に暮れつつも、さらに道を開いていきます。
主人公と環境の間のピストン運動は、ますますテンポを速めます。

①このシークエンスの冒頭で、主人公はどんな状態ですか？

②その主人公に対し、どんな人物が、どのように働きかけますか？

③その働きかけに対し、主人公はどんな行動を返しますか？

④その行動に対し、どんな邪魔が現れますか？

⑤このシークエンスのクライマックスを考えてください。

⑥このシークエンスの終わりで、主人公はどんな状態ですか？

⑦展開部Ⅳのプロットを800字程度に書いてください。
実際に書くのは原稿用紙を使い、この欄はメモとします。

製作工房 クライマックス

いよいよ、クライマックスを具体的に描いていきます。
展開部Ⅳまでのピストン運動の盛り上がりがうまくできていれば、
この部分で苦勞することは、もうあまりないはずです。

①クライマックスでは、だれとだれとが対決するのですか？

②その対決は、どのような動機で始まりますか？

③その対決は、どのように展開しますか？

④主人公は、どのように絶体絶命の窮地に追い込まれますか？

⑤主人公は、どのようにその窮地を逆転しようとしますか？

⑥その対決は、どのように決着しますか？

⑦クライマックスのプロットを600字程度で書いてください。
実際に書くのは原稿用紙を使い、この欄はメモとします。

製作工房 エピローグ(終局部)

エピローグは、大爆発が終わった後の、**均衡状態**を表し、
生き残った人々が顔をそろえ、**平和と未来への希望**といったものでしめくります。
現代では短くなる傾向があり、ほとんどないに等しいものもあります。

①エピローグには、どんな人々がいますか？

②世界は、どうなっていますか？

③主人公は、何をしようとしていますか？

ファーストシーン（発端部）のイメージ

ラストシーン（エピローグ）のイメージ

さて、あなたの作品のイメージはだいぶ豊かになったと思います。
あなたは、次のステップのどれかに進むことができます。

→ 200字詰原稿用紙30枚程度の、企画プロットを完成する。

→ 箱書きをつくる。

→ 実際の作品（シナリオ、戯曲、小説etc.）を執筆する。